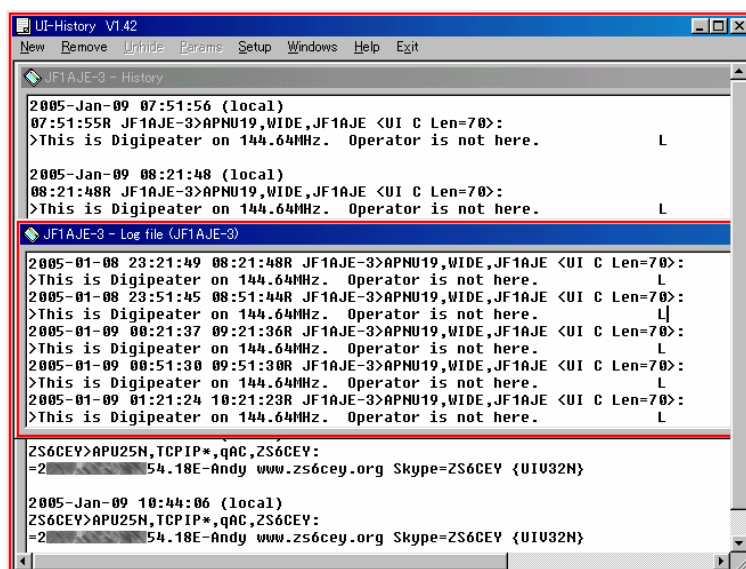


・List Type

「History list」、「Log file」、「Telemetry list」のいずれかを選択します。

・Callsign

コールサインを入力します。「History list」か「Log file」を選択した場合は、ドロップダウンリストにコールサインが表示されるので、その中から局を指定することも出来ます。「List Type」に「Log file」を選択すると、保存するファイル名を指定するボックスが開きますので、ファイル名を指定してください。空欄でクリックすると、指定したコールサインが自動入力されます。[List Type]に「Telemetry list」を選択した場合には、「Edit



<図74:History>

Telemetry Params」鈕が出現するので、これを押下して「Telemetry Parameter(収集するテレメトリーの内容)」を定義します。

「UI-VIEW32¥History Lists」フォルダーに保存されている「History list」ファイルと「UI-VIEW32¥LOGS」フォルダーに保存されている「Log」ファイルは、[Main Screen]→[Logs]→[Play A Log]機能で再生することが出来ます。

【Remove】

現在アクティブになっている履歴ウインドウの履歴記録を終了します。終了時、記録内容をファイルとして保存するかどうかを問われますので、適宜選択してください。

【参考】

ウインドウをクローズしただけでは記録は終了していません。[Unhide]リストから指定することにより、表示を復活させることが出来ます。

【Unhide】

現在バックグラウンドに隠されているウインドウの一覧が表示されます。いずれかを指定することにより、アクティブウインドウに表示されます。

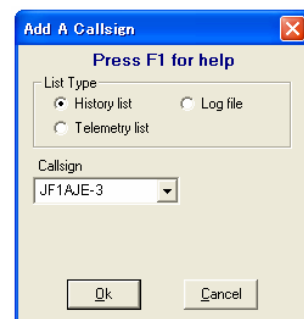
【Setup】 <図76>

・Dupe suppress minutes

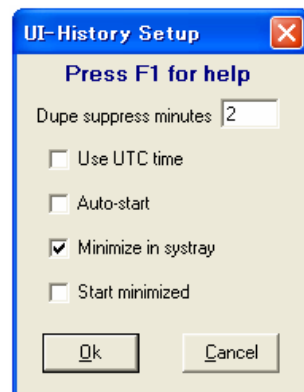
設定した時間内ですでに受信した同一パケットの記録を抑制します。あるパケットを直接受信した後でデジピーター経由で再び同一のパケットを受信したとき、重複して同一のパケットを記録することを避けるために指定します。

・Use UTC time

「History list」の時刻表示をUTC表示にします。「Log file」は常にUTC時刻で記録されます。



<図75:NEW>



<図76:Setup>